

酒井俊^{vocal}
 加藤一平^{guitar}
 江藤良人^{drums}

2018 09月30日(日)

開場 14:30
 開演 15:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)
 MC 3500 円+2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047
 info.cafebeulmans@gmail.com
 東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
 必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
 ご記載ください。



加藤一平

ギタリスト1982年東京生まれ。自由の森学園中学校・高等学校 卒、専門学校 ESP ミュージカルアカデミー・ギタークラフト科 卒 20歳 のときにギターを始める。独学。都内各所のセッションで腕を磨く。23歳の時、NYに半年滞在。ジャムセッション、ライブにて腕を磨く。鈴木勲 (b) 日野皓正 (tp) Han Bennink (ds) 中牟礼貞則 (g) 不破大輔 (b、ダンドリスト) 坂田明 (as) 梅津和時 (as、cl) 加藤崇之 (g) dj honda (DJ) coba (accordion) 是安則克 (b) Keiko Lee (vo)、のなか悟空 (ds) 川嶋哲郎 (ts) 本田珠也 (ds)、Grace Mahya (vo) 丈青 (p) 元晴 (sax) 秋田"ゴールドマン"紀彰 (b) etcと共演。現在の主な活動は、自分のバンド『鳴らした場合』の他、『鈴木勲 OMA SOUND』『日野皓正 クインテット』『渡さ知らズ』など、多数のライブ・レコーディング・サポートメンバーとして関東近郊を中心に活動中。



酒井俊

1976年、伝説のJAZZ CLUB「ミステリー」で歌い始める。翌年には初めてのアルバム「SHUN」がリリースされ、センセーショナルな反響を呼ぶ。リーダーアルバムを続けて計3枚、多くのレコーディングに参加、殆ど休まずに歌う約2年半を過ごしたが、突然渡米する。2年間のマンハッタンでの生活、そして帰国。約8年間の子育てを主にする家庭生活に入る。その後、渋谷毅と再会、復帰する。阪神淡路大震災の後に生まれた「満月の夕」と運命的な出会いを果たす。2003年「第45回日本レコード大賞企画賞」を受賞、2004年辺りからそれまでの活動を見直し、即興演奏・民族音楽の影響・トラディショナルへの傾倒を反映しつつ、演奏家たちとの終わりのない共同作業へとその時間は積み重ねられており、09年には8年振りの2枚組「Night At The Circus vol.1」を、10年には「PLAYS STANDARD vol.1」「a few little things」を制作。そして12年には「螺旋階段な日常」をリリース、現在に至る。また、10、11、12年とヴェトナムにて歌うなど海外にても活動の幅は広がっている。



江藤良人

1973年生まれ、三重県鈴鹿市出身。10歳からドラムを始める。1996年プロ活動開始。1998年渡辺貞夫(as)バンドに参加し、モントルー・ジャズ・フェスティバル出演。これまで、日野皓正(tp)、山下洋輔(p)、綾戸智恵(vo)、平井堅(vo) Lee Konitz(as)、Eddie Gomez(b)等と共演。2006年~2015年大野雄二(p)率いる"Yuji Ohno & Lupintic Five"に参加。現在、自己のトリオ「Karate Chops」の他、井上陽介(b)カルテット、佐藤竹善(vo)バンド、岡淳(ts) "punch!"等様々なグループ、セッションで活躍中。舞うようにしなやかなシンバルレガート、繊細さとパワフルさをあわせもつドラミングは絶大な信頼感をもたらす。